

2026年度（令和8年度）

事業計画書（案）

令和8年4月1日から

令和9年3月31日まで



公益財団法人

苫小牧市スポーツ協会

2026年度（令和8年度）事業方針

私たちは、第5期指定管理期間に合わせ、「持続可能な組織となるための進化」をテーマにした5ヵ年の経営計画を令和6年度に策定しました。

令和8年度の事業計画作成にあたっては、この経営計画に基づき、市民の皆様が安全・安心にスポーツを楽しんでいただけるよう配慮しています。計画した目標の達成と検証、新規事業への挑戦、事業の見直しや廃止、収益向上を目指した新たな取り組みを進め、PDCAサイクルを実行しながら、職員一丸となって質の高い運営を目指します。

苫小牧市委託事業の実施においては、令和8年度に見直しが行われる「第2期苫小牧市スポーツ推進計画」の趣旨を取り込み、地域における健康増進や生きがいのあるスポーツ活動の推進、子供たちが1つの種目に絞らず、同時期に複数のスポーツを体験・実施できるマルチスポーツを推進に努め、スポーツの習慣化に取り組み市民のスポーツ週1回以上実施率の向上に努めます。

また、新たに事業委託される日本スポーツ協会資格取得支援事業、パラスポーツの推進事業を実施するほか、スポーツ合宿の誘致助成事業を行い交流人口の増加を目指します。既存の事業については、市内でスポーツをする選手への支援や競技団体の支援、スポーツを支えるスポーツボランティアの育成に努めてまいります。

指定管理施設の運営では、アイスホッケー体験やカーリング体験など氷上スポーツ体験事業を資源とした教育旅行や企業研修の誘客を行い、自主事業の充実を図るほか、シーズンオフ期間のアリーナ活用、会議室における運動メニュー充実、ロビーや屋外スペースによる、各種イベントを開催し、利用者と収益の拡大を図ります。また、職員の人材育成にも取り組み施設管理だけではなく、カーリングの独自指導に向けた職員研修に取り組むなどオールラウンダーな人材育成にも取り組みます。貸館業務についてはDX化を図り利便性の向上に努めます。

現在、市のスポーツ推進審議会で検討が進められている「第2期苫小牧市スポーツ推進計画」について、当協会の経営計画と照らし合わせ、計画の中間見直しに着手いたします。



2026年度（令和8年度）事業計画

1. 公益目的事業

公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業

本事業は、苫小牧市・苫小牧市スポーツ協会・競技団体が事業を主催し、スポーツに関する多様な事業を企画・実施することにより、地域のスポーツの普及振興を図り、広く市民にスポーツへの参加機会を提供する
※事業名（実施時期／参加見込）

ア. スポーツ大会等開催事業（定款第4条第1号事業）事業費5,653,000円

市民スポーツ祭など各種大会を実施し、中高生から一般まで幅広い年齢層を対象に体力の向上、競技力の向上を目的とした事業を開催する

（1）市民スポーツフェスティバル

第58回市民バドミントン大会（9月／50名）

第45回市民ソフトテニス大会 中学2年生以下の部／一般の部（10月／200名）

第58回市民卓球大会（10月／150名）

第24回市民フロアカーリング大会（9月／100名）

第25回市民スポンジテニス大会（10月／30名）

第3回市民ボッチャ交流大会（11月／40名）

第10回苫小牧市民パークゴルフ交流大会（10月／200名）

【共催】JFAフットボールデー2026北海道 in 苫小牧（9月／1,000名）

【共催】第47回苫小牧市民ラグビー祭（10月／110名）

【共催】第53回苫小牧地区弓道選手権大会（9月／100名）

【共催】第52回苫小牧バレーボールまつり（9月～12月／700名）

（2）【実行委員会事業】第43回とまこまいマラソン大会（6月／1,200名）

（3）【実行委員会事業】とまこまいスポーツフェスティバル2026（10月／7,500名）

（4）スポーツ大会開催事業

苫小牧北ロータリークラブ杯第26回 Jrアイスホッケーチャレンジカップ（12月／180名）

第3回日本生命杯争奪少年野球大会（8月／240名）

大鷲旗争奪第64回苫小牧朝野球大会（5月～8月／550名）



イ. スポーツ教室・講習会開催事業（定款第4条第1号事業）事業費8,899,000円

幼児、児童、親子、一般、女子、高齢者など対象別に各種スポーツ教室、講習会を開催し、スポーツに関する学習の機会やスポーツへの動機づけ、基礎技術の習得、体力づくり、健康の維持増進の場を提供する

(1) スポーツ教室・講習会

運動会目前!!キッズかけっこ教室（5月／42名）

初級・中級テニス教室（6月／100名）

基礎から学ぶはじめての弓道教室(中学6月～8月・一般9月～10月／260名)

アウトドアスポーツ体験教室（10月／30名）

市民ソフトテニス教室（10月～11月／60名）

TOMAKOMA I チャレンジスポーツクラブ（2月～3月／90名）

簡単・楽しく!!からだ変身!!運動教室（4月～2月／600名）

【共催】市民アーチェリー教室（5月／10名）





(2) 氷上スポーツ育成事業

スケートエンジョイスクール nepia会場 (12月～3月／1,120名)

スケートエンジョイスクール ダイナックス会場 (12月～3月／550名)

スケートエンジョイスクール 新ときわ会場 (12月～3月／300名)

スピードスケート体験教室 (10月～2月／350名)

展示室整備事業 (通年)

広告フェンス取り付け事業 (4月～6月)

幼児対象氷上スポーツ育成事業補助金 (6月～3月) 新規移管

(3) スポーツマスター派遣事業

佐藤久佳水泳教室 (開催時期未定／30名)

大澤ちほアイスホッケー教室 (開催時期未定／30名)



(4) 青少年スポーツ振興事業

カムカムスポーツキッズ、青少年スポーツの普及事業 新規移管

公1-2 スポーツ普及のための人材登録・紹介事業及び、競技力向上等事業

本事業は、スポーツ活動を続けていく上で重要な、スポーツ指導者やスポーツボランティアを登録及び紹介することを目的とした事業を実施する。また、競技力向上のための各種スポーツ講演会等の開催、競技団体活動助成を行う

ア. スポーツ人材登録及び紹介事業（定款第4条第2号事業）事業費610,000円

（1）TSPO人材バンク（通年）

スポーツ指導者やスポーツボランティアの人材登録を促進するとともに、当協会ホームページで登録指導者を紹介し、地域からの要望に応じ指導者、ボランティアの紹介を行う

①スポーツ指導者発掘及び登録紹介事業

②部活動指導者発掘及び登録紹介事業

③スポーツボランティア発掘及び登録紹介事業

（2）JSPO資格取得支援事業助成事業（通年／50名） 新規事業

2030年から日常的な指導も資格が必要とのJSPOの方針があり、市内スポーツ指導者の資格取得支援事業を追加する

（3）中学校部活動の地域移行に関する事業

部活動地域展開に伴う地域総合クラブ構築支援等



イ. 競技力育成強化等に関する事業（定款第4条第3号事業）事業費1,350,000円

（1）加盟団体強化事業（通年）

加盟団体の競技力向上や普及を目的として、別に定める助成金要綱により、年に1回活動助成金の支給を行うとともに、全道・全国大会を誘致した加盟団体に対し、別に定める助成金要綱に基づき、大会助成金を支給する

（2）講演会等開催事業（開催時期未定／30名）

競技力育成強化を目的とした講習会等を開催し、スポーツ活動に役立つ知識や最新の情報を、広く指導者・選手・一般愛好家に対し啓蒙していく

公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業

各地で開催される全国・全道大会に参加する際に遠征費の一部助成を行う。市内のスポーツ愛好者にスポーツに親しみ地域間でスポーツ交流できる機会を提供する。スポーツによる青少年の健全育成を目的とした各種事業を企画・実施しスポーツ少年団の育成を図る。苫小牧市内において特に顕著な功績のあった者を表彰する。

ア. スポーツ大会参加奨励に関する事業（定款第4条第5号事業）事業費26,201,000円

（1）全道・全国大会参加助成事業（独自）

地区予選・推薦を経て苫小牧市の代表として、全道・全国・国際大会に出場する、一般の個人・団体に遠征費の助成を行う（対象：18歳以上の大人「学生除く」）

(2) 全道・全国大会遠征費補助事業（移管）

地区予選・推薦を経て苫小牧市の代表として、全道・全国大会に出場する選手若しくは指導者に遠征費補助金を交付する（対象：小学・中学・高校・大学）

(3) 国際大会出場奨励金交付事業（移管）

世界規模のスポーツ大会に出場する者の栄誉を称え、活躍を祈念するとともに、市のスポーツ振興及びスポーツ活動に対する市民の意識高揚を図るため、国際大会出場奨励金を交付する

(4) 全国・全道スポーツ大会開催運営補助金交付事業（移管）

苫小牧市で開催される小学校、中学校、高等学校及び高等専門学校の学生を対象としたスポーツ競技の全国大会並びに全道大会の開催に必要な経費の一部に対し、補助金を交付する

(5) 苫小牧市スポーツ合宿等助成金 新規移管

苫小牧市外の学校、実業団、クラブ等に所属する団体が、スポーツ技術向上のための練習や研修等を目的に宿泊する際の参加者の延べ宿泊数に応じて、助成金を交付する



イ. スポーツ少年団育成事業（定款第4条第6号事業）事業費1,124,000円

(1) 大会開催事業

各種競技の大会を開催する事でスポーツに親しむ機会を提供し、競技力の向上と青少年の健全育成を図る

第52回市長旗争奪少年野球大会（5月／250名）

第57回交歓大会兼第33回高沢杯争奪大会（9月／80名）

第54回スポーツ少年団剣道交流会（10月／80名）



(2) 少年団リーダー・指導者養成事業

各種研修会、交流会にスポーツ少年団員・指導者を派遣し、指導者育成、リーダー育成を図る

北海道スポーツ少年大会（開催時期未定）

北海道スポーツ少年団リーダー研修会（１２月）

胆振管内スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（１月）

苫小牧市スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（３月／２０名）

北海道スポーツ少年団指導者研究大会（１１月）

苫小牧市スポーツ少年団指導者母集団研修会（３月／４０名）

（３）スポーツ少年団運営

スポーツ少年団登録事務、胆振管内スポーツ少年団協議会への参加

ウ．スポーツ功績者表彰に関する事業（定款第４条第７号事業）事業費８４２，０００円

（１）スポーツ功績者表彰事業

苫小牧市のスポーツ普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「特別賞」「功労賞」「優秀賞」「奨励賞」「感謝状」を贈呈する



（２）スポーツ少年団表彰事業

苫小牧市スポーツ少年団の普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「育成功労賞」「スポーツ奨励賞」を贈呈する

公１－４ スポーツ（スケート競技）振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業

氷都苫小牧のスケート競技人口拡大のための普及事業や、競技力向上のための事業を開催、及び競技団体の事業を支援。指定管理者としてスケート競技の拠点施設であるnepiaアイスアリーナやダイナックス沼ノ端アイスアリーナの管理運営を行う事により、施設を活用した様々な教室やイベントを開催する事が出来る。

ア．nepiaアイスアリーナ自主事業に関する事業（定款第４条第８号事業）

事業費１，６８６，０００円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「nepiaアイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする

①水鏡見学会（４月／９００名）

②オープニングイベント（７月／９００名）

③小学生クロスアイスゲーム（７月／４０名）

④アイスキーパー体験会（７月／１０名）

⑤七夕企画「スポーツ短冊で夢を叶えよう！！」（７月～８月／２００名）

⑥カジュアルホッケー（７月～３月／７５０名）

⑦フィギュアスケートゾーン（７月～３月／２０名）

⑧氷上スポーツ体験事業（７月～３月／５団体、１５０名）

⑨スケートワンポイントレッスン（７月～３月／１０名）

- ⑩小学生スケートスクール（１０月～１月／２５０名）
- ⑪クリスマスイベント（１２月／１２０名）
- ⑫幼児・小学生アイスホッケー教室（２月／３０名）
- ⑬親子スケート体験会（３月／１０名）
- ⑭大人のためのアイスホッケースクール（３月／９０名）
- ⑮大人のためのフィギュアスケートスクール（３月／１０名）
- ⑯こおりのおえかきひろば in ネピアリ（３月／３００名）
- ⑰ロビー・駐車場を活用したイベント誘致事業（通年／２，０００名）
- ⑱貸スケート・スケート研磨事業（通年）



イ．ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業（定款第４条第８号事業）

事業費１，６４３，０００円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする

- ①水鏡見学会（４月／１５０名）
- ②オープニングイベント（６月／１００名）
- ③氷上スポーツ体験事業（６月～３月／１０団体、２００名）
- ④アイスキーパー体験会（７月／１０名）
- ⑤小学生スケートスクール（１０月～１月／２００名）
- ⑥カーリング体験会（６月～９月／４０名）
- ⑦お正月イベント（１月／２５０名）
- ⑧DYNAXアイスホッケースクール（２月／５０名）
- ⑨カジュアルホッケー（６月～３月／１，２００名）
- ⑩フィギュアスケートゾーン（６月～３月／２０名）
- ⑪スケートワンポイントレッスン（６月～３月／１０名）
- ⑫貸スケート・スケート研磨事業（通年）



ウ．施設の貸出しに関する事業（定款第４条第８号事業）事業費２８２，９０５，０００円



n e p i a アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナの設置目的を踏まえ、各種競技大会、専用利用、研修会、レクリエーション、個人のトレーニング利用などに、アリーナ、会議室、トレーニング室の貸し出しを行う。また、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナでは、地域団体や教育機関と連携し、カーリング体験会を行うことで用具の有効活用に繋げる。施設の維持管理にあたっては「スポーツ施設管理士」「スポーツ施設運営士」の両資格を有する「上級スポーツ

施設管理士」が１１名おり、利用者の安全な施設利用のため万全を期している。貸出方法は、苫小牧市白鳥アリーナ条例及び規則、苫小牧市スポーツセンター条例及び規則、運用内規などにに基づき利用の受付、貸出、利用料金の徴収を行う。また、利用状況、利用の方法などについてはホームページで公表している

（１）運営目標

- ①利用者の平等利用の確保（ユニバーサルサービスの充実）
- ②施設効用の最大化（開館日拡大、利用環境向上、システム化推進、新たな利用者発掘）
- ③安定的な管理体制（組織改革・人材育成、働き方改革、職員研修）
- ④管理経費の縮減（３Ｒで経費縮減、省エネの取組み、施設利用促進）
- ⑤具体的な目標（利用人数１０万人以上、モニタリング評価９０点以上）
- ⑥安全管理の対策（資格取得、火災等訓練実施、防犯対策、機器類整備の実施）
- ⑦団体運営と法令遵守（自主財源の拡大、スポーツ団体ガバナンスコード）

（２）目標数値（令和６年度実績参考）

①n e p i a アイスアリーナ目標数値

一般滑走	３，０００名
トレーニング室	１１，０００名
リンク専用貸切	５１，０００名
会議室専用貸切	１５，０００名
催し物来場者	６８，０００名
自主事業等	２，０００名

合 計	150,000名
②ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ目標数値	
一般滑走	6,500名
リンク専用貸切	65,000名
催し物来場者	8,000名
自主事業等	500名
合 計	80,000名



2. 収益事業

収1 物品販売等事業

本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業で、グッズの販売、大会写真販売など利用者サービスの一環として収益を得ることを目的とした事業を行う。

ア. 物販等事業（定款第4条第9号事業）事業費 57,000円

- (1) 写真販売事業
- (2) レッドイーグルス北海道グッズ委託販売事業
- (3) スケート用品、アイスホッケー消耗品、軽食などの窓口販売事業
- (4) スケート靴・スポーツ用具貸出事業
- (5) 備品貸出事業

3. その他の事業（相互扶助等事業） 新規移管 事業費22,700,000円

他1 ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点機能強化事業

令和8年度より、苫小牧市から移管を受け、施設管理者である当協会がスポーツ庁の委託事業を受託し、アイスホッケー強化拠点の環境整備について実施する。

(1) 委託期間 契約締結の日から令和9年3月31日

(2) 委託業務内容

- ①スポーツ庁への委託事業実施計画提出及び、委託事業実施報告の提出
- ②委託事業の予算執行に係る経理業務
- ③競技別 NTC 合同ミーティング等への職員派遣
- ④公益財団法人日本アイスホッケー連盟への再委託業務



4. その他事業

(1) 実行委員会事業への参画

- ①全国高等学校選抜アイスホッケー大会
20回大会から実行委員会事務局と大会運営を担っている事業。
- ②パラスポーツ振興事業 新規移管（4月～3月）
新規移管事業として、パラスポーツの教室・体験会の実行委員会事務局と事業を運営。
- ③とまこまいスケートまつり 新規移管(令和8年度はスポーツ都市推進課共同実施)



新規移管事業として、スケート行事部が実施する町内会交流競技の氷上交流会、フロアカーリング大会と苫小牧チビッコスケート競技会の運営を行う。

(2) スポハラ（スポーツにおける暴力行為等）相談窓口事業 新規独自事業

暴力行為等に関する相談及び、問い合わせに対する体制を整備し、スポーツ活動の健全な発展とスポーツに関わる人々の権利利益の保護を図ることを目的に相談体制を構築する。

(3) 地域貢献事業

①募金箱設置活動

施設管理窓口に北海道盲導犬協会募金箱を設置し、利用者や職員からの善意を送金する

②地域の環境美化活動

市内企業・団体との協働で花壇整備事業、清掃活動など環境美化活動、環境保全活動で実施

(4) スポーツツーリズム推進事業

①苫小牧市MICE誘致推進協議会との協働

J1リーグ名古屋グランパスの苫小牧キャンプ、北海道日本ハムファイターズ2軍施設の誘致を

はじめ、プロスポーツ、氷上スポーツを中心とした競技大会の誘致、開催支援に加え、MICE誘致推進協議会が行う合宿誘致セールス、市・観光協会と協働で教育旅行等の道外観光プロモーションに取り組み、道外からの誘客活動を行う。

②プロスポーツへの貢献事業

n e p i a アイスアリーナを拠点として活動するレッドイーグルス北海道をはじめ、市と包括連携協定を結ぶレバンガ北海道、北海道イエロースターズの活動を支援するとともに協働イベントの開催を通じて地域スポーツの振興と市民との触れ合いの場を創出する。

③アニメツーリズム事業

観光協会が進めるアニメツーリズム事業と協働し、アイスホッケー漫画ドッグスレッドによる氷都苫小牧のPR活動を行う。

(5) オリンピアン大澤ちほさんとの協働

大澤ちほさんとのアドバイザー契約を結びスポーツ協会とともにスケート、アイスホッケー振興事業に取り組む。

(6) 広報活動について

ホームページでは協会事業、加盟団体等の情報などを集約する他、管理施設の情報を集約した情報発信を行うとともに、SNS活用による情報発信や地域メディアとの連携に取り組む。

(7) 職員研修事業

新採用職員研修、接遇マナー研修、コンプライアンス研修、消防訓練・消防設備使用研修など職員研修を行い職員の資質向上を図る



2026年度（令和8年度）

収 支 予 算 書（案）

令和 8 年 4 月 1 日から
令和 9 年 3 月 31 日まで



公益財団法人

苫小牧市スポーツ協会

令和 8 年度 公益財団法人苫小牧市スポーツ協会収支予算書
(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

単位：円

科 目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
I 収入の部				
1. 基本財産運用益	1,322,000	1,322,000	0	
基本財産運用収入	1,322,000	1,322,000	0	基本財産運用益
2. 事業収入	10,555,000	19,208,000	△ 8,653,000	
(1) スポーツ大会開催事業収入	3,761,000	12,820,000	△ 9,059,000	参加料、協賛金は直接実行委員会会計で処理
(2) 自主事業収入	6,794,000	6,388,000	406,000	水鏡見学会、スケートスクール等の収益増
3. 利用料金収入	50,084,000	47,600,000	2,484,000	
(1) nepiaアイスアリーナ利用料金収入	31,900,000	29,500,000	2,400,000	令和 6 年度実績をベースに積算
(2) ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ利用料金収入	18,184,000	18,100,000	84,000	令和 6 年度実績をベースに積算
4. 受託事業収入	229,937,000	225,532,000	4,405,000	
(1) 受託事業収入	229,937,000	225,532,000	4,405,000	
nepiaアイスアリーナ指定管理費	169,662,000	168,064,000	1,598,000	市基準管理費用の額
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ指定管理費	60,275,000	57,468,000	2,807,000	市基準管理費用の額
5. 補助金収入	112,779,000	74,741,000	38,038,000	
(1) 苫小牧市	90,079,000	74,441,000	15,638,000	
スポーツ協会補助	60,562,000	54,382,000	6,180,000	
運営費補助	51,465,000	45,655,000	5,810,000	定期昇給、新採用職員の人件費増
事業費補助	7,135,000	6,520,000	615,000	JSPQ資格取得支援事業等新規移管事業に伴う増
加盟団体補助	1,300,000	1,400,000	△ 100,000	活動実態に伴う減
スポーツ少年団補助	662,000	807,000	△ 145,000	サッカー 2 大会廃止に伴う減
氷上スポーツ育成事業補助	4,316,000	3,219,000	1,097,000	
スケートエンジョイスクール事業	2,770,000	2,270,000	500,000	防具購入費用増額
スピードスケート振興事業	300,000	300,000	0	
展示室整備事業	31,000	31,000	0	
広告フェンス取付事業	618,000	618,000	0	
幼児対象氷上スポーツ育成事業補助金	597,000	0	597,000	令和 8 年度新規移管事業
スポーツ振興助成金	25,201,000	16,840,000	8,361,000	
全国・全道スポーツ大会開催運営費助成	1,500,000	1,350,000	150,000	令和 7 年度実績に基づく増
各種スポーツ大会遠征費補助金・奨励金	16,368,000	15,490,000	878,000	令和 7 年度実績に基づく増
スポーツ宿泊助成金	7,333,000	0	7,333,000	令和 8 年度新規移管事業
(2) 北海道	0	300,000	△ 300,000	特定求職者雇用開発助成金
(3) スポーツ庁	22,700,000	0	22,700,000	新規移管事業（NTCマネジメント業務）
6. 寄附金収入	1,500,000	1,500,000	0	
(1) 寄附金収入	1,500,000	1,500,000	0	スポーツ事業資金造成協賛会他寄附金
7. 登録料収入	579,000	819,000	△ 240,000	
(1) スポーツ少年団登録料	579,000	819,000	△ 240,000	スポーツ少年団登録料の減
8. 負担金収入	286,000	286,000	0	
(1) 加盟団体負担金収入	286,000	286,000	0	加盟団体（35団体）負担金
9. 雑収入	1,000,000	721,000	279,000	
(1) 受取利息収入・グッズ収入等	1,000,000	721,000	279,000	グッズ販売、写真販売事業
10. 基本財産収入	0	0	0	
(1) 基本財産収入	0	0	0	
11. 記念事業積立準備金繰入収入	0	0	0	
(1) 記念事業積立準備金	0	0	0	
12. 特定預金取崩収入	0	0	0	
(1) 特定預金取崩収入	0	0	0	退職予定なし
13. 管理運営資産積立金取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	
(1) 特定預金取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	令和 8 年 4 月採用職員 1 名分の人件費確保のため
当期収入合計 (A)	410,042,000	371,729,000	38,313,000	
前期繰越収支差額	1,899,000	1,177,000	722,000	
収 入 合 計 (B)	411,941,000	372,906,000	39,035,000	

単位：円

科 目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
Ⅱ 支出の部				
1. 公益目的事業	327,584,000	322,199,000	5,385,000	
公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業				
ア スポーツ大会開催事業	14,552,000	22,430,000	△ 7,878,000	
イ スポーツ教室・講習会開催事業	5,653,000	15,083,000	△ 9,430,000	会計の整理による減額
ウ スポーツ教室・講習会開催事業	8,899,000	7,347,000	1,552,000	氷上スポーツ、青少年スポーツ振興事業による増
公1-2 スポーツ普及のための人材登録・紹介事業及び、競技力向上等事業				
ア スポーツ人材登録及び紹介事業	1,960,000	1,582,000	378,000	
イ 競技力育成強化等に関する事業	610,000	127,000	483,000	JSP0資格取得事業による増
ウ 競技力育成強化等に関する事業	1,350,000	1,455,000	△ 105,000	加盟団体助成金・講演会開催経費
公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業				
ア スポーツ大会参加奨励に関する事業	28,167,000	20,220,000	7,947,000	
イ スポーツ大会参加奨励に関する事業	26,201,000	17,840,000	8,361,000	スポーツ振興事業合宿助成事業移管に伴う増
ウ スポーツ少年団育成事業	1,124,000	1,494,000	△ 370,000	サッカー大会廃止、登録人数の減少による減
エ スポーツ功績者表彰に関する事業	842,000	886,000	△ 44,000	前年度実績
公1-4 スポーツ（スケート競技）振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業				
ア nepiaアイスアリーナ自主事業に関する事業	282,905,000	277,967,000	4,938,000	
イ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業	1,686,000	1,522,000	164,000	事業増などに伴う増
ウ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業	1,643,000	1,913,000	△ 270,000	支出経費見直しなどによる減
エ 施設の貸出に関する事業	279,576,000	274,532,000	5,044,000	
オ nepiaアイスアリーナ管理運営事業	199,877,000	198,414,000	1,463,000	職員定期昇給等による人件費の増
カ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ管理運営事業	79,699,000	76,118,000	3,581,000	職員定期昇給等による人件費の増
2. 収益事業	57,000	57,000	0	
物販等事業	57,000	57,000	0	法人事業税、決済手数料
3. 法人会計	59,281,000	47,184,000	12,097,000	
ア 管理費	59,281,000	47,184,000	12,097,000	
人件費	56,501,000	44,325,000	12,176,000	新採用、職員定期昇給等の人件費の増
物件費	2,780,000	2,859,000	△ 79,000	経費見直しによる減
4. その他事業（NTC）	22,700,000	0	22,700,000	
ア 委託料	22,700,000	0	22,700,000	
委託料	22,700,000	0	22,700,000	スポーツ庁委託事業NTCマネジメント業務
5. 固定資産取得支出	0	0	0	
ア 固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
6. 特定預金支出	2,319,000	1,844,000	475,000	
ア 特定預金支出	2,319,000	1,844,000	475,000	
特定預金支出	2,319,000	1,844,000	475,000	職員退職手当引当金
7. 流動資産積立支出	0	1,322,000	△ 1,322,000	
ア 積立金支出	0	1,322,000	△ 1,322,000	
-		1,322,000	△ 1,322,000	管理運営・退職手当資金への積立
8. 記念事業積立準備金	0	300,000	△ 300,000	
ア 記念事業積立準備金	0	300,000	△ 300,000	
-		300,000	△ 300,000	将来の記念事業に向けた積立
9. 退職金支出	0	0	0	
ア 退職金支出	0	0	0	
退職金支出	0	0	0	退職予定なし
当期支出合計（C）	411,941,000	372,906,000	39,035,000	
当期収支差額（A）－（C）	△ 1,899,000	△ 1,177,000	722,000	
次期繰越収支差額（B）－（C）	0	0	0	